

くしまからはじめよう。



皆さんのもとにお届けします。
2014
2月号
年6回(偶数月)
No.242

福|島|県|広|報|誌
ゆめだより



特集

観光をふくしまの力に

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
☎024(521)7014



ふくしまからはじめよう。



ふくしまから
はじめよう。 ゆめ|め|だ|よ|り

2014
No.242

2月号

C O N T E N T S

も く じ

ふくしまの宝「春光」…………… 2
 特集：観光をふくしまの力に… 4
 キビタンのわかる県政…………… 7
 ふくしまから はじめよう。 …… 8
 ふくしまの食…………… 10
 キビタンがゆく /
 広報ステーション…………… 11
 地域ゆめ情報…………… 12
 県からのお知らせ…………… 14
 施設インフォメーション…… 15
 ゆめクイズ…………… 16

こ う
光

1. 福島県立美術館の紅梅（福島市） 関(公財)福島県立美術館 ☎ 024-531-5511



2. 早春の須賀川牡丹園（須賀川市） 関(公財)須賀川牡丹園保勝会 ☎ 0248-73-2422

【表紙】

昨年 10 月に行われた全日本吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した県立湯本高等学校吹奏楽部。

震災で校舎が使用できなくなり、一時はいわき明星大学に全生徒が移転し、今も高校のグラウンドに建てられたプレハブ校舎で学んでいます。

吹奏楽部では、県内外から楽器の提供を受けるなど、さまざまな支援を受け活動を続けてきました。そんな支援への感謝の気持ちを伝えたいとの思いから、部では地域の人たちに元気を届けるため、地域の病院や福祉施設での演奏活動も行っています。

現在は、3月に東京で開催される東日本大震災復興支援チャリティコンサートへの出演や、定期演奏会に向けて、日々練習に励んでいます。



地域の小・中・高校合同で行われた演奏会



しゅん
春

3. つるし雛飾り (いわき市) 関ままや ☎ 0246-55-6280



4. 里からの磐梯の頂 (会津若松市) 関会津若松市観光課 ☎ 0242-39-1251



ふくしまの**宝**

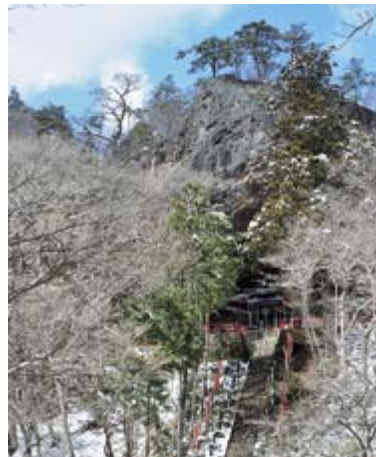
早春の柔らかな光。新しい季節がめぐり、人々を幸せにする風景はふるさとの宝です。

厳しい冬のさなか、ふと顔を見せる春のきざし。それは新しい季節のつぼみがほころび始めた一瞬です。柔らかな日差しや季節の風物が、早春の光景を彩っています。

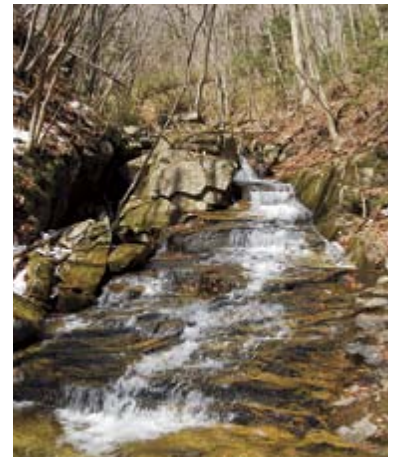
まだ春浅い中にも、少しずつ何かが始まる予感を感じる……ゆるやかに芽吹いてくる福島は私たちの宝物。そんな変化を楽しみに、県内各地を訪れてみてはいかがでしょうか。



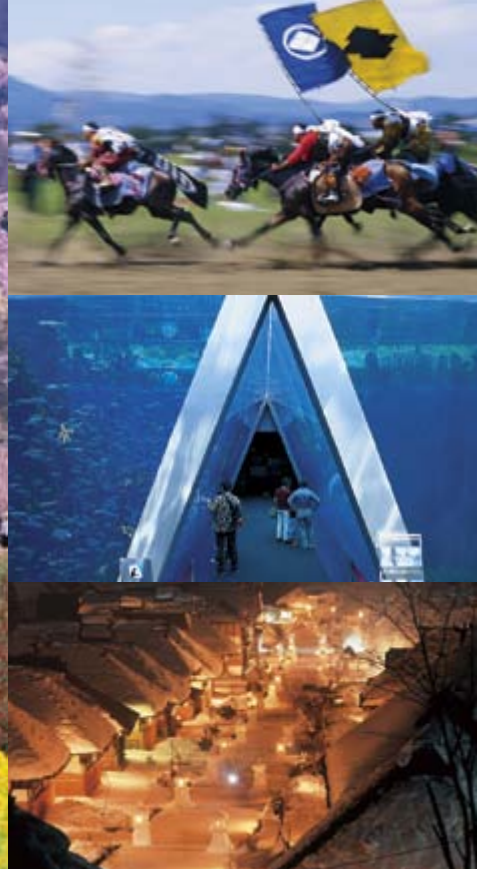
5. 只見川 (金山町) 関金山町産業課 ☎ 0241-54-5327



6. 山本不動尊 (棚倉町) 関棚倉町観光協会 ☎ 0247-33-7886



7. 古熊山不動滝上流 (川内村) 関川内村復興対策課 ☎ 0240-38-2112



地域の魅力を発見し、

DC*につなげよう

そしてふくしまでつながろう

只見線沿線の5町村では電車で手を振ろうという呼びかけをはじめています。

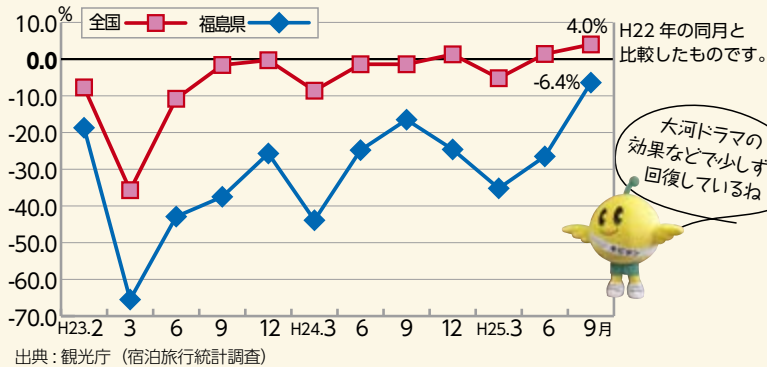
また来てね!

観光をふくしまの力に

ふくしま観光交流プロジェクト

県では県復興計画の中の重点プロジェクトの一つであるふくしまの観光交流プロジェクトを推進しています。今回は平成27年に本番を迎えるふくしまデスティネーションキャンペーン(*DC)に向けて県内で取り組んでいるおもてなしと魅力再発見の取り組みについて紹介します。

■観光客中心の施設における実宿泊者数(人泊)比較の推移



大河ドラマの効果などで少しずつ回復しているね



福島県知事 佐藤 雄平

知事
メッセージ

観光で地域の魅力発信はじめよう

本県の力強い復興には、地域に幅広い活力をもたらす「観光」の再生が欠かせません。この起爆剤となるのが平成27年に本番を迎える「ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)」です。豊かな自然、特色ある歴史や伝統文化、おいしい食など、たくさん観光資源に恵まれている本県にも、まだ知られていない宝が眠っています。DCを契機にこうした地域の魅力を発見して磨き上げ、新たな旅行商品を生み出していくことが、地域の元気につながります。

また、さまざまな全国大会や国際会議が県内各地で開催され、国内外から多くの方が来県されます。こうした機会を逃すことなく、「ふくしまからはじめよう。」の合言葉の下、本県の魅力と今を広く発信し、観光の更なる振興を図ってまいります。

* デスティネーションキャンペーン(DC)とは、地元観光関係者や自治体、JRグループ6社等が協力し、全国の旅行会社等の協力を得ながら、3か月間重点的かつ集中的に全国で宣伝販売が展開される国内最大級の観光キャンペーンです。

それぞれの地域で、はじめよう

各地ではじまっているふくしま DC に向けた取り組みの一部を紹介します。

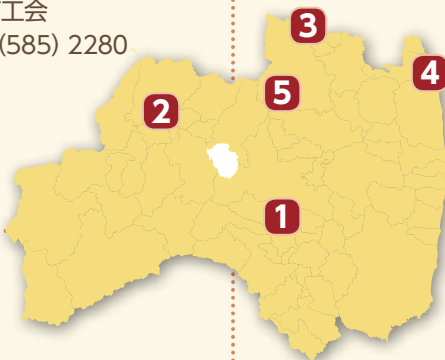
新しい名物で地域を盛り上げたい

3 国見バーガー

国見町商工会で、新しい名物を生み出そうと、昔から地元の名産だった地元商店のさばの味噌煮を使ったハンバーガーを作りました。当初はキッチンカーでイベント時のみの販売でしたが、国見バーガーをきっかけにして、町に足を運んでもらおうと、商店街の空き店舗を活用した販売もはじまっています。



【問い合わせ先】
国見町商工会
☎ 024 (585) 2280



今できることから取り組もう

4 被災地研修ツアー



相馬市観光協会では、震災後、旅館、飲食店が再開しているにもかかわらず、観光客が戻らず、「何かなくては」との思いを持ち、平成 24 年に松川浦、相馬港などを巡るツアーを始めました。現地では復興に向かう地元の様子を案内したり、語り部が震災当時の様子、現在の状況を説明したりして、被災地の今を伝えています。参加者の多くは県外からで、海外からの団体視察も案内しています。訪れてもらうことで、風化の防止と地域の再生につなげようとしています。

【問い合わせ先】相馬市観光協会 ☎ 0244 (35) 3300

「生かされた」命で、命の大切さを伝える

津波で旅館も家族も流されてしまい、悲しむばかりでしたが、半年ぐらいして「泣いてばかりいてはだめだ。このことを語り継がなくては」と漁協の方やいちご園の方などと一緒に、当時のことをツアーの方々話し始めました。「生かされた」という思いから、命の大切さを伝えています。ツアーの皆さんに「ありがとう」「頑張ってください」と手を握られると、やって良かったな、という思いが込み上げてきます。

語り部
いごらし
五十嵐ひで子さん（相馬市）



インタビュー

地域の魅力を掘り起こそう

1 地域づくりワークショップ

県中地域では、県、市町村と民間が一体となって広域観光の推進に取り組もうと、「ふくしまど真ん中！元気プロジェクト」を立ち上げ地域資源の磨き上げに取り組んでいます。

岩瀬地方ではかつて「石背国」と呼ばれていた歴史に着目し、須賀川市、鏡石町、天栄村が一体となって（岩瀬地方広域観光連絡協議会）、話し合いやワークショップを行い、観光地域づくりのリーダーを養成中です。今後、リーダーが地域を引っ張り、この地域ならではのおもてなしを作ろうとしています。



地域の魅力って何だろう？

農業で観光客との交流を

2 熱塩温泉と地元農家のコラボレーション



喜多方では温泉旅館と地元農家が協力して、観光客のアスパラガス収穫体験を行っています。

農家の指導の下、収穫作業を体験して

もらう「人と人の交流」が一番の魅力です。収穫作業後の心地よい疲れを地元の日帰り温泉で癒すことで、観光と農業それぞれの魅力につながるという「異業種の連携」が注目されています。

【問い合わせ先】熱塩温泉旅館協同組合
☎ 0241 (36) 3138

大満足でリピーター続出！

収穫するコツだけではなく、アスパラガスづくりにかける思いや産地ならではのおいしい食べ方、地域の魅力などを話しながら、観光客の皆さんに体験してもらっています。収穫したアスパラガスのおいしさと温泉に満足していただき、リピーターの方がとても多いです。

アスパラガス農家
まとう せつ子
佐藤 節子さん（喜多方市）



インタビュー

ふくしまを伝えたい

5 大学生がプロデュースする福島の旅



スタ☆ふくプロジェクト（福島大学の学生による有志団体）は、「福島を感じて考えるスタディツアー」を企画し、地域の人たちと一緒に試行錯誤しながら8回のツアーを実施。これまで県内外から、延べ202人が参加しました。参加者は「報道だけでは分からない、来てみて初めて分かることがある」と感想を語り、受入側の漁師や農家の皆さんには、関心を持って訪れてくれる姿勢や参加者との交流を喜んでいただいています。「今後も、そんな両者の良好な関係を広げ、福島の活性のための活動に励んでいきたい。」と代表の吉田江里さん（2年生）。県のサポートを受けホームページ・フェイスブック・ツイッターなどで活動を発信しています。

ツアー参加者の声

新しい出会いや発見が楽しい！ 佐藤 仁さん（宮城県から参加）



テレビに映っている情報しか知らない私は福島に行くまで「現地の人はきっと落ち込んでいるのだろう…」と思っていました。しかし実際に現地に行くと「風評をなくせるように頑張っていこう！」という前向きな人たちがばかりでした。そんな人たちから刺激を受け、「自分にも何かできることはないだろうか」と考えさせられます。参加するたびに得られるたくさんの新しい発見や出会いをいつも楽しみにしています。

スタ☆ふくプロジェクト

検索

● 県の取り組み

外国人にやさしい観光案内を！

外国語の案内・パンフレットを作成

まちなかの案内表記や、観光地パンフレットなどの外国語表記に取り組み、外国の方が観光しやすい態勢を整えるため、県では外国語表記のための支援を実施しています。

福島県 外国人受入体制整備促進事業

検索



会津
日光
（英語・中国語・韓国語表記）
会津鉄道のパンフレット

「ふくしまデスティネーションキャンペーン」のプレキャンペーンが今年の4月からはじまります。それに向けて、各自治体や観光関係者等が地域の魅力の掘り起こしや磨き上げなどの準備を進めています。

風評を払拭したり、リピーターを拡大していくためには、県民一人一人がおもてなしの心を持って、来県する観光客に満足いただくことが大切です。

「列車や観光バスに向かって手を振る」「進んで道案内をする」など、DCをきっかけに、まずは自分のできることから始めてみませんか。

みんなでおもてなし！



おもてなし缶バッジ

県民総参加でおもてなし

「福が満開おもてなし隊」参加者募集！

「あいさつをする」「観光地を掃除する」「進んで写真を撮る」などのおもてなしで、福島県のイメージアップやリピーターの拡大に取り組んでみませんか。

団体・企業単位、個人単位のいずれでも参加できます。参加者にはおもてなし缶バッジを配布します。詳しくは県庁観光交流課までお問合せください。

【問い合わせ先】 県庁観光交流課 ☎ 024 (521) 7398



デスティネーションキャンペーンは3か年計画の観光キャンペーンです。

平成 26 年 4 月 1 日～6 月 30 日

ふくしまプレ DC

「福が満開、福のしま。」福島県観光キャンペーン

平成 27 年
4 月 1 日～6 月 30 日
ふくしまデスティネーション
キャンペーン

平成 28 年 4 月 1 日～6 月 30 日

ふくしまアフター DC



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

県のスローガンである「ふくしまから はじめよう。」

には、ひとりひとりが復興に向けて歩みはじめよう、そして、ふくしまから新たな流れを創っていこう、という未来への意志が込められています。

県では、ふくしまを応援してくれる方々の協力を得ながら、ふるさと復興の決意を新たに、ふくしまから新たなコトをはじめ「ふくしまから はじめよう。プロジェクト」をはじめました。このプロジェクトをきっかけに、国内外との「縁やゆかり」を育み、ふくしまの新しいイメージを創っていきます。

既にはじまっている
プロジェクトの一部を
紹介します。



プロ野球選手と
一緒にはじめた



キャッチボール
クラシック

子どもたちに夢と希望を与えたいという
想いがつなぐって、
ふくしまで新たな競
技が誕生しました。

国内10企業・1大学で
はじめた



福島復興浮体式洋上ウインド
ファーム実証研究事業

昨年11月運転を開始。今年には
さらに、世界最大級の7メガ
ワットの風力発電設備が2基
設置される予定です。

全国のご当地キャラとはじめた



ご当地キャラこども夢フェスタ
in 白河 H25/9/21・22 開催

子どもたちに元気と笑顔を届け、復
興に向かう“ふくしまの今”を全国に
発信するイベントを開催しました。

民間企業との
協働ではじめた



ふくしまから はじめよう。キビタン号

首都圏や県内の仮設住宅などで県産
品の移動販売を行い、販路拡大や観
光PRに取り組んでいます。出店場
所・スケジュールは

再生可能エネルギー先駆け
の地を目指してはじめた



福島空港メガソーラー

約4,300枚のパネルを備える
大規模な太陽光発電所を、3月
の運転開始を目指して建設中
です。

その他
にも...

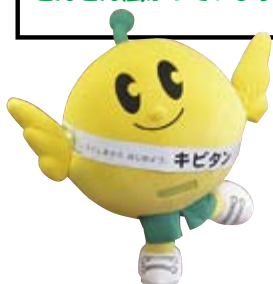
●熊本県と連携してはじめた

「くまもとから元気をプロジェクト」
により、くまモンが子どもたちに
元気を届けました。

●県内マスコミとはじめた

「ふくしま夢つながるプロジェクト」
「ふくしまから はじめよう。夢大賞」
など。

「ふくしまから はじめよう。
プロジェクト」は
どんどん広がっています。



H25/
12/
20

新たな取り組み



学校法人 立命館との協定

立命館とはじめる 関西・世界 への情報発信

取り組み
として...

立命館大学と連携し、ふくしまの“魅
力”と“今”を伝えるシンポジウムや留
学生を対象とした本県でのスタディツアーを
実施します。今後、幅広い分野で協力を得な
がら、本県の情報発信に取り組んでいきます。

Future
From
Fukushima.



ふくしまからはじめよう。

豊かな自然のなかで伝統や自然を守り若者との交流を楽しむグリーンツーリズムに取り組んできた鮫川村。震災後の風評被害にもめげず、さらなるあゆみを進めています。



定年後に始めた和紙づくり
300年間続く業を引き継ぐ

定年退職を機に本格的に鮫川和紙づくりを始めた齋須寛一さん。冷たい水を使い、底冷えのする紙すき小屋の作業も楽しそうにこなします。

「慣れてくると、すいた感覚で、どんな紙が仕上がるか分かるんです。それが形になっていく過程が本当に面白いです」。和紙づくりの師匠は20年前まで紙すきをしていた星弘さん。当時90歳だった星さんは、鮫川

和紙づくりを知る唯一の人で、齋須さんに喜んで紙すきを教えるとともに、快く道具を貸してくれたといいます。しかし紙の出来については、なかなか

認めてはくれませんでした。ようやく「このくらいできれば、よかつペ」と言われるまでかかった歳月は4年近く。齋須さんが一人前になったのを見てどけて、星さんは昨年1月に亡くなりました。



素朴であたたかい風合いの鮫川和紙。その歴史は300年を超えるといわれます。



(上) 作業小屋には師匠の星弘さんの写真が飾られ、齋須さんの作業を見守っていました。

(下) 紙の原料となる楮こうぞ。何度も冷たい水にさらし手間暇かけて乳白色の和紙になっていきます。

鮫川和紙の製品は、鮫川村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で購入することができます。
「手・まめ・館」 ☎0247(49)2556

鮫川和紙を生んだ水の恵みを未来へ ふるさとへの思いを胸に動きだそう

鮫川和紙の家主宰 ● 齋須寛一さん (鮫川村)

ここからみんなではじめよう

蔵の町で知られる喜多方市。かつて蔵のれんがや瓦を製造していた「三津谷の登り窯」を保存する活動が進められています。

喜多方煉瓦會

☎0241 (22) 5546



◀伝統技術を習得しながら、地域活性化につなげる会の取組みが評価され、「2013年度グッドデザイン賞」の特別賞「地域づくりデザイン賞」を県内初受賞。

GOOD DESIGN AWARD 2013
地域づくりデザイン賞



▲れんがを活用した施設。

みんなで、「地域の宝」を未来に残していこう。

明治23年に創業した「三津谷の登り窯」は、昭和45年に廃業し、一時は復活したものの静かに眠りについていました。平成19年に窯が近代化産業遺産に認定されたことをきっかけに、「生きた産業遺産」として活用しようと市民有志を中心に喜多方煉瓦會の前身となる実行委員会が発足。活動当初は、窯場の修繕作業を中心にいき、れんが作りの伝承者も募集してきました。その募集を見てボランティアに参加し、すっかりれんがに魅了されてしまったという加藤裕之さんが、現在は窯の運営にも携わっています。

震災により窯が破損。しかし「ここで活動をやめられない」とメンバーも震災支援の活動などで忙しい中、みんなで修復作業を実施。亀裂をふさいだり、窯内部の補強を行った結果、修復を始めた約半年後に火入れができるようになりました。今では、年に数回のペースでれんがの焼成*を実施。「れんが作りは全て手作業。でも、手間暇かけて作ったものが地域で活用された時の喜びと達成感はひとしおです。そんなふうにもみんなで喜びを共有できるから、老若男女、遠方からもボランティアが集まってきます。れんが作りを通して、さまざまな人と交流できるのも魅力の一つですね」と笑顔を見せます。加藤さんは続けて、「これからは、観光資源として、見学や体験にも力を入れていきたい。多くの方に活動に参加していただくことで、地域の宝を未来につなげていきたいです」と抱負を話してくれました。

*焼成…陶土を成形したものを高温で焼いて陶器または磁器とすること。



▲昨年11月22日に今年度最後の火入れが行われました。窯の温度を常に1200度以上に保つため、約15分間隔で薪入れを行います。焼成作業は三日三晩行われました。



▲焼成されたれんが。喜多方市役所や喜多方桐桜高校の門柱に使用される予定。

まだまだ自分たちにできることはある

齋須さんは、子どもたちの紙すき体験も受け入れて入れています。「水がきれいだからこそ、この鮫川和紙が生まれました。ふるさとの水や自然のすばらしさを次の世代にも伝えたいです」
鮫川村では5年ほど前から県外の子どもたちを受け入れるグリーンツーリズムを盛り上げようと取り組んできました。
齋須さんは『鮫川村農村体験交流協議会』の会長として体験活動や農家民泊のネットワークづくりを積極的に推進し、震災

前年には千葉県から多くの小学生を迎えていました。原発事故の影響により、体験活動の申し込みが途絶えてしまいました。が、会では将来また多くの子どもたちを迎えられるように農家民宿の許可申請を進め、先進地を視察するなどしています。
また、齋須さんは「鮫川にカジカを呼び戻す会」の代表でもあり、平成18年から会員と共に水質調査と環境整備を続けています。その成果もあり、ここ数年はカジカが産卵し繁殖しているのが確認されるようになりました。「何もしていないより、

自分から動き始めることが大事だと思っています」
震災後も変わらず鮫川村に農村体験に来ていた大学生もいて、多くの人と関わりながら、忙しい毎日を過ごしている齋須さん。「私たちのように、定年後の世代だからこそ、地域のかでできることがあ
る」と元気な同世代にエールを送ります。



(左) 鮫川和紙を貼り合わせてつくったランプシェード。紙すきと合わせ製作体験もできます。詳しくはホームページから <http://samegawa-washi.com/>

鮫川和紙 検索

(下) 櫓の皮をはぐために集まった仲間たち。作業が終わった後には手打ちそばを味わうのが恒例になっているそうです。





目指すは「健康絶好調」!

本宮烏骨鶏

地域住民が生涯現役で
自立できる健康づくりを
応援します!

「健康な卵」が健康な体づくりをサポート

本宮烏骨鶏 検索 0243(24)8553



遠赤外線を使い旨みが凝縮した「とろーり酵母卵」は、とろりとした黄身と柔らかくプリン状の白身の、半熟でも生でもない卵



株式会社本宮烏骨鶏 取締役会長

伊藤 彦太郎さんと社員の皆さん



◀粉末化した卵油を粒状にした新商品は、今年から販売の予定



▶生後2か月のメスのひな



▲震災後、ケージを20cmかさ上げして放射線量を低減

低脂肪・低カロリーで、肝臓の働き

「本宮烏骨鶏」の卵は、高たんぱく、長年生産の指導を行ってきた伊藤さんも、退職後は本格的に参加。昨年7月には株式会社組織変更をし、現在は6人の社員と約2000羽を飼育しています。

中

国で古くから不老長寿の秘薬として珍重されてきた烏骨鶏。

栄養価の高いヘルシーな卵

を助けるメチオニンが豊富なと不飽和脂肪酸の含有量が多いのが特徴。「鶏を健康に育てることが健康な卵を産んでもらうことにつながるから餌にもこだわりの、地元企業のビール酵母や栄養価の高い餌を与えています」と伊藤さん。卵は地元や近隣の菓子店で材料として使われているほか、昨年11月からは、都内の有名レストランでも使用されています。

烏骨鶏の飼育を通して夢が広がる

震

災後は放射性物質の対策をしながら、健康な本宮烏骨鶏を育て、その堆肥で土壌改良を行い、質の高い商品開発を目指す「本宮烏骨鶏プロジェクト」が始まっています。風評被害で注文が減った時期もありましたが、自分たちの取り組みを説明し、また風評をなくそうと本宮市役所と一緒にPR・販路拡大に努め、商談会に出かけるなどの活動をする

ことで、現在は注文も回復してきました。将来的には地元農家の方々に養鶏を委託して、鶏糞の活用と収入アップにつながるよう働きかけていきたいと伊藤さんは話します。

「食は命」が私のモットー。栄養バランスに気をつけた食事をするのと、地域の人々が健康になれば医療費もかからず、ひいては地域のためにもなります」と話す伊藤さん。これからのいろいろと夢はあるけどまだ秘密ですと、笑顔を見せました。



ふくしまからはじめよう。

福島県復興シンボルキャラクター

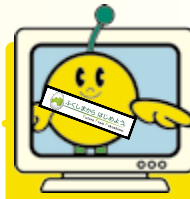
キビタンがゆく

幼稚園・保育所・小学校のイベントにキビタンを呼ぼう!

TEL 024(953)6881

Eメール kibitan@passage-inc.co.jp

キビタンの部屋



キビタンの活動の様子や、スケジュールなどを紹介。キビタンと会えるイベントをぜひ、チェックして!

キビタンの部屋

おめでとう!!

●イラストを送ってくれてどうもありがとう! キビタン賞のイラストを紹介します。



宇野陽喜さん・6才 (いわき市)



吉田遼大さん
9才 (西郷村)



渡部晴生さん
6才 (会津若松市)



たけだゆりさん
6才 (いわき市)



半澤美羽さん
4才 (会津若松市)



藤田若奈さん
4才 (郡山市)



飯田空大さん・5才 (福島市)



佐藤詩さん
7才 (須賀川市)



増子蒼人さん
3才 (郡山市)



増子和音さん
7才 (郡山市)



矢沢美優さん
6才 (只見町)



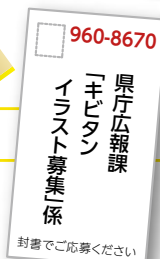
小林実莉さん
3才 (いわき市)



飯田ヒカルさん・7才 (福島市)

イラスト随時受付中! キビタンの絵を大募集! ゆめだよりで紹介!

- ◆対象/小学生以下
- ◆キビタン賞に輝いたイラストは4月号の誌面でご紹介します。(※)
- ◆住所、氏名、電話番号、年齢または学年を記入の上、同封してください。



キビタン賞のお友だちには、キビタングッズをプレゼント。

※お名前・年齢(学年)、お住まいの市町村名を掲載させていただきます

広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧になれます▶

広報ステーション

テレビ番組

県の施策を分かりやすく紹介

キビタンGO! ~ふくしまからはじめよう。~

[FTV] 毎週 21:54~22:00

新生ふくしま ~ふくしまからはじめよう。~

[FCT] 毎週 16:55~17:00

復興への取り組みをお伝えします

サタふく 「ふくしま調査隊」

[FTV] 毎週 11:30~12:55

ゴジてれ Chu! 「ふくしま情報スクエア」

[FCT] 毎週 15:50~16:53

ふくしまスーパーチャンネル 「ふくしまからはじめよう。」

[KFB] 毎月最終 17:36~17:54

はぴスタ 「行け! 行け! キビタン!」

[TUF] 毎月最終 9:55~10:50



キビタンの天気予報

ゴジてれ Chu!

[FCT] 18時台

1週間の県政の動きを紹介

ウィークリー県政トピックス

[KFB] 毎週 17:25~17:30

ウィークリー県政ナビ

[TUF] 毎週 11:40~11:45

観光地などのふくしまの魅力と今を紹介

ふくしまてくてく

[フジテレビ(関東ローカル)] 毎週 11:40~11:45

[FTV] 毎週 11:45~11:50

ラジオ番組

知事室からこんにちは

ふくしまからはじめよう。

ふるさとだより

[rfc] 毎月最終

12:30~12:45

ふくしま

イブニングブレイク

[ふくしまFM] 17:30~17:35

17:30~17:35

新聞

県からの

お知らせ

[福島民報・福島民友]

原則毎月

第2・第4土曜日の翌日



※一部、放送時間が変わることもあります。

いわき市 第5回いわきサンシャインマラソン
2月9日(日) 9:00 フルマラソンスタート

毎年全国ランニング大会100選に選ばれ、ランナーに人気の本大会。第1回大会から年々参加定員を増やし、規模を拡大してきましたが、今大会は、ついに1万人規模の大会となります。ランナーの皆さんが最後まで楽しく走り切れるように、ぜひ沿道で熱い声援をお送りください。



いわきサンシャインマラソン実行委員会事務局(いわき市観光交流課内)
☎0246(22)7607

相馬市 サッカーコート5面が完成!
相馬光陽サッカー場

国際サッカー連盟と日本サッカー協会の支援による天然芝コート3面・人工芝コート1面と、市が整備した人工芝コート1面の計5面のコートが昨年12月に完成しました。今年は、夜間照明やクラブハウス施設などの整備を予定しています。低料金で1年中利用できますので、ぜひご利用ください。



相馬市生涯学習課スポーツ振興係
☎0244(37)2278

西会津町 第24回西会津雪国まつり
2月9日(日) 10:00~18:30
会場:西会津町さゆり公園

桐ゲタ飛ばし全国大会や雪上運動会、スノーモービル乗車体験など、雪国西会津ならではのイベントが盛りだくさんです! 県内のご当地グルメや地元産のそばが楽しめる「うまいもん&そばまつり」のほか冬の夜空を彩る雪上花火やキャンドルナイトも開催します。ぜひご来場ください。




西会津町ふるさと振興推進委員会
(西会津町商工観光課)
☎0241(45)2213



桑折町 ももびな 桃雛まつり
2月16日(日)~3月3日(月) 10:00~16:00
会場:桑折町中央通り商店街

献上桃の里・桑折町で毎年恒例のひな祭りに、風評被害払拭を願って昨年から加わった桃雛。桑折町民と浪江町民が心ひとつに作った「桃雛」が、ひな人形・吊るし雛・さるぼぼとともに、商店街を優しく彩ります。さらに今年は地元食材を活かした手料理コンテスト入選作品での「おもてなし」を予定しています。ぜひお越しください。



桃雛まつり実行委員会(桑折町商工会内)
☎024(582)2474 

桃雛

“ 県内の主なイベント ”

2月

平田村 第3回ひらた冬まつり

2月2日(日)／ジュピアランドひらた
 平田村産業課 0247(55)3115

飯館村 村民ふれあい集会

2月2日(日)／バルセイいざか
 飯館村総務課企画係 024(562)4246

会津若松市 会津絵ろうそくまつり

2月7日(金)・8日(土)／鶴ヶ城、御薬園、市内各所
 会津絵ろうそくまつり実行委員会事務局(会津若松観光物産協会) 0242(24)3000

只見町 第42回只見ふるさとの雪まつり

2月8日(土)・9日(日)／JR只見駅前広場
 只見ふるさとの雪まつり実行委員会 0241(82)5240

下郷町 大内宿雪まつり

2月8日(土)・9日(日)／大内宿
 下郷町観光協会 0241(69)1144

白河市 白河だるま市

2月11日(祝)／市内目抜き通り
 白河観光物産協会 0248(22)1147

塙町 つるし雛

2月15日(土)～3月2日(日)／塙町コミュニティプラザ
 塙町コミュニティプラザ 0247(43)4120

金山町 会津かねやま雪まつり

2月16日(日)／金山町民体育館周辺
 金山町商工観光係 0241(54)5327

北塩原村 裏磐梯雪まつり

2月21日(金)～23日(日)／裏磐梯サイトステーション、レンゲ沼
 裏磐梯雪まつり実行委員会(裏磐梯観光協会内)
 0241(32)2349

昭和村 第31回からむし織の里雪まつり

2月23日(日)／からむし織の里
 からむし織の里雪まつり実行委員会 0241(57)3100

会津美里町 文殊大祭

2月25日(火)／清龍寺文殊堂
 会津美里町観光協会 0242(56)4882

伊達市 つっこ引き祭り

3月2日(日)／保原町内
 同祭実行委員会 024(576)4062

三島町 第33回三島町生活工芸品展&第13回全国編み組工芸品展

3月15日(土)・16日(日)／三島町生活工芸館・交流センター山びこ
 三島町生活工芸館 0241(48)5502

福島市 劇団ひとみ座人形劇「美女と野獣」

3月23日(日)／こむこむ わいわいホール
 こむこむ 024(524)3131

檜枝岐村 林千春メモリアルスキー大会

3月29日(土)／尾瀬檜枝岐温泉スキー場
 檜枝岐村総務課 0241(75)2500

その他の行事はホームページ [福島県内の主な行事](#)

3月

郡山市 第19回音楽都市こおりやま全国合唱祭

3月2日(日) 13:30開演
 会場:郡山市民文化センター大ホール



県内外から全日本合唱コンクール全国大会金賞団体などを招いて開催する「音楽都市こおりやま」ならではのイベントです。



“東北のウィーン”で全国トップレベルの美しいハーモニーをお楽しみください。入場は無料ですが整理券が必要です。詳しくは下記へお問い合わせください。

郡山市教育委員会文化課
 ☎024(924)2661

喜多方市 第17回会津山都寒晒しそばまつり

3月22日(土)・23日(日) 10:00～14:00(終了は15:00)
 会場:山都体育館



「寒晒しそば」は徳川将軍家に献上されていたという記録が残るぜいたくなそばです。



極寒の時期に冷たい溪流に玄そば(そばの実)を浸し、引き揚げて寒風に晒し乾燥させ作るそばは旨味を増し、弾けるような食感になります。幻の技法で作る「寒晒しそば」をぜひ、ご賞味ください。事前予約が必要です。 [山都寒晒しそばまつり](#)

喜多方市山都総合支所産業課 ☎0241(38)3841
 きたかた商工会山都地区センター ☎0241(38)2254

案内
PRDCC特別企画「福が満開、福のしま。」
プレゼント&フリーボンキャンペーン

キャンペーンのバスポートに掲載の旅館・ホテル、お店でポイントを集めると、抽選で宿泊券など豪華なプレゼントが当たります。

30ポイントを集めると「びゅう商品券(10万円分)」が当たるチャンス！また、クーポンの利用で、よりお得なふくしまの旅を満喫できます。



「福が満開、福のしま。」
バスポート(※イメージ)

バスポートは、県内J.R主要駅、道の駅、S.A.P.A、観光案内所、参加店舗などで無料配布。スマートフォンからも参加できます。

期間 2月17日(月)から12月31日(水)まで
問 県庁観光交流課
☎024(521)7398

案内
高校生スキーヤーに熱い声援を！

2月4日(火)から8日(土)まで、猪苗代町(アルペン競技・クロスカントリイ競技)と秋田県鹿角市(ジャンプ競技)コンバインド競技)において、第63回全国高等学校スキー大会が開催されます。県内での開催は29年ぶりになります。本

大会は、高校生スキー競技の最高峰の大会で、全国各地から厳しい練習を積んだ精鋭の選手が出場します。ぜひ、この機会に高校生スキーヤーの躍動する姿に声援を送ってください。

問 県教育庁健康教育課

☎024(521)8409

第63回全国高等学校スキー大会

催し

東日本大震災から三年
追悼と復興の催し

● 東日本大震災追悼復興祈念式

日時 3月11日(火)午後2時30分～

場所 県文化センター 小ホール

参加料 無料(要事前申し込み)

● ふくしまコンサート「復興のひびき」

日時 3月11日(火)午後5時30分～

場所 県文化センター 大ホール

出演者 雅楽師・東儀秀樹氏、県内の学生などの団体など

参加料 無料(要事前申し込み)

申し込み方法 ①氏名、②住所、③電話番号、④同行者氏名を記入の上、往復はがきで各係へお申し込みください(1枚につき2名まで)。

※2月20日(休)当日消印有効

申請 〒963-0724

郡山市田村町上行合字西川原7-5

「追悼式」係 または

「復興のひびき」係

☎024(942)3110

県庁企画調整課

☎024(521)8627

3・11ふくしま復興

検索

案内
「自動車の移転(変更・抹消)登録を忘れずに！」

自動車税は、毎年4月1日現在の自動車の所有者(割賦販売の場合は使用者)に課税される県の税金です。自動車税を他人に譲った場合などでも、3月末日までに運輸支局で手続きを済ませないと、引き続き元の所有者に課税されますので、忘れずに手続きしてください。

また、住所を変更した場合も、住民票の異動だけでは納税通知書の送付先は変わりませんので、運輸支局で車検証の住所変更手続きをお願いします。

問 最寄りの地方振興局県税課

または 県庁税務課

☎024(521)7070

催し

「食とふるさと」安全・安心シンポジウム

県産農林水産物の現状や食の安全性について、分かりやすくお伝えするシンポジウムを開催します。朝日新聞編集委員の大村美香氏の基調講演をはじめ、最新の研究成果発表、生産、流通・小売、消費者の各代表による食の安全・安心についてのパネルディスカッションを行います。

日時 2月8日(土)午後1時～午後4時

場所 ホテルハイツ(郡山市)

参加料 無料(ごなたでも参加いただけます)

申し込み方法 郵送、電子メールまたは

ファクス

検索

申請 〒960-8670(住所記載不要)
県庁農林企画課

☎024(521)7319

ファクス 024(521)7944

電子メール kikaku.af@pref.

fukushima.lg.jp

「食とふるさと」新生運動

検索

催し

第7回音楽アンサンブルコンテスト
全国大会

3月20日(木)から23日(日)の4日間、福島市音楽堂に全国の合唱団が集います。今回から、小学校ジュニアグループが創設されました。少人数編成の合唱団による「アンサンブル」の美しさをぜひ会場で体感ください。

チケット販売所 チケットぴあ、セブンイレブン、サークルKサンクス、ローソン、ミニストップ、福島市音楽堂、県文化センター

チケット

4日通し券 8千円

2千円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

2千500円

ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目 ☎ 024(947)8010

| | |
|---------------------|-------------------------|
| 2月21日(金) ～24日(月) | 骨董&棚卸大市 |
| 3月15日(土) ・16日(日) | うつくしま住まいと リフォーム博2014 |
| 3月22日(土) ・23日(日) | ふくしま再興祭り2014 |

福島県文化センター

福島市春日町 ☎ 024(534)9191

| | |
|----------|--------------------------------|
| 2月9日(日) | ふくしまっ子総合文化祭 ～未来ヘツナグふくしま愛～ |
| 2月15日(土) | 福島成蹊高等学校 ふれあいコンサート |
| 2月23日(日) | 財団法人 福島県文化振興財団主催 地域史研究会* |
| 3月9日(日) | ドキドキ! プリキュアショー* |
| 3月15日(土) | NHK交響楽団 福島公演* |
| 3月23日(日) | 第21回 つばさの夢 チャリティーコンサート* |

コラッセふくしま

福島市三河南町 ☎ 024(525)4098

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 2月6日(木) ・7日(金) | 北方領土パネル展 |
| 2月9日(日) ～11日(祝) | 第14回県工建築展 |
| 2月28日(金) ～3月2日(日) | けんしん 硯心書道会学生部 書道展 |
| 3月6日(木) ～9日(日) | 刑務作業製品展示会 |

※有料のイベントです(他のイベントは入場無料)

●予定につき内容が変更される場合があります。この他にもたくさん
さんのイベントが開催されます。

福島県立美術館 検索

福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

「近代洋画にみる夢 河野保雄コレクションの全貌」展

長谷川利行や関根正二、青木繁など個性きらめく洋画家の作品収
集で知られ、百点美術館を福島市に開いた河野保雄(1936-2013)
コレクションの全貌を、約400点の作品で振り返ります。

- 開催期間:3月23日(日)まで
- 観覧料:一般・大学生800(640)円、高校生600(480)円
小・中学生400(320)円 ※()内は20名以上の団体料金
- 休館日:毎週月曜日(国民の祝日は除く)、2月12日(水)



関根正二「信仰」1918年頃 当館蔵

福島県立博物館 検索

会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

「特集展 東北の伝承切り紙 —千葉惣次コレクションを中心に—」

紙を小刀で切ってつくる切り紙。伝承切り紙の美しさに心ひかれ、東
北各地をめぐる集めた千葉惣次さんのコレクションを中心に展示し
ます。また、写真家 大屋孝雄さんの写真も展示します。

- 開催期間:3月27日(木)まで
- 観覧料:一般・大学生260円、高校生以下無料
- 休館日:毎週月曜日(国民の祝日は除く)、2月12日(水)

宮城県南三陸町入谷・八幡神社 撮影 大屋孝雄



福島県文化財センター白河館 まほろん 検索

白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

「特別企画展」文化財復興展 「救出された双葉郡の文化財Ⅱ」

双葉町・大熊町・富岡町の各資料館から、文化財レスキュー活動
で救出し、まほろん敷地内の仮保管施設に収納している文化財
を公開・展示します。文化財は地域の歴史にとって大切な財産
です。守り伝えられてきた郷土の資料をぜひご覧ください。

- 開催期間:3月23日(日)まで
- 入館料:無料
- 休館日:毎週月曜日(国民の祝日は除く)、2月12日(水)



獅子頭(大熊町) こけし(双葉町)
掛軸(富岡町)

環境水族館 アクアマリンふくしま 検索

いわき市小名浜字辰巳町 50 ☎ 0246(73)2525

「つるし雛」

ちりめん細工教室「ままや」協力のもと、さまざまな海の生
き物をかたどった「つるし雛」を展示します。

- 開催期間:2月20日(木)～3月3日(月)
- 入館料:一般・大学生1,600円、高校生・小中学生800円、
未就学児無料
- 年中無休



つるし雛

主な震災関連相談窓口一覧

福島県 相談窓口一覧 検索

| | | | |
|-----------|--------------------------------------|---|---|
| 原子力 災害 | 放射線に関する 問い合わせ | 電話相談窓口 月～金曜日:午前8時30分～午後8時 土 日 祝 日:午前8時30分～午後6時 | ☎ 0120(988)359 フリーダイヤル |
| | 原子力損害賠償などに 関する問い合わせ | 電話相談窓口 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く) ※毎週水曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施 巡回法律相談 県内7方部において弁護士による無料の 対面相談を実施(予約制) | ☎ 024(523)1501 |
| 生 活 | 県内の仮設住宅への入居や、 被災住宅の支援に関して | 被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日:午前9時～午後5時(祝日を除く) | ☎ 024(521)7698 |
| | 県内外に避難した人の 相談窓口 | 県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く) | ☎ 024(523)4157 |
| 健 康 | 県民健康管理調査の実施に 関する問い合わせ | 県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 月～金曜日:午前9時～午後5時(祝日を除く) | ☎ 024(549)5130 |
| そ 他 | 県政に関する総合相談窓口 (相談窓口がわからない場合はこちらから) | 県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日:午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。 | ☎ 0120(899)721 フリーダイヤル ☎ 024(521)7017 |

復興の願いを込めて——

本宮烏骨鶏「卵のケーキら・らん」が当たる!

素材にこだわり
しっとりした食感

30名様に
プレゼント



▲「卵のケーキら・らん」

問題

来年4月～6月に本番を迎えるふくしまデスティネーション
キャンペーンのキャッチコピーは?

○が満開、福のしま。

○の中に文字を入れてください。(ヒントは6ページ)



県民の声ミニアンケート

問1 県が公表している放射線のモニタリング情報のうち、あなたが知りたい
情報はどれですか? (3つまで)

- ①空間線量 ②食品 ③海洋 ④土壌 ⑤大気 ⑥河川・地下水

問2 県民健康管理調査「基本調査」問診票に、記入が容易な「簡易版」が導入
されたことをご存じですか?

- ①はい ②いいえ

- 応募方法/ はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答え、アンケートの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「卵のケーキら・らん」を差し上げます。
- 締め切り/ 2月28日(金)当日消印有効
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

電子メール yume@pref.fukushima.lg.jp

ファクス 024(521)7901



ゆめクイズ



クイズの答え

○が満開、福のしま。

- ・県民の声ミニアンケートの回答 (例) 問1①②③ 問2①
- ・興味を持った記事
- ・本誌へのご意見、ご感想
- ・県政への疑問、質問など
- ・郵便番号 住所 氏名 年齢 職業 電話番号

※アンケートの回答内容はプレゼントの当選には関係ありません。
※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、賞品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★2月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(12月号)の正解は「福島(ウ)ナイテッドFC」でした。(応募総数 1638 通うち正解 1464 通) 次回(No.243)は4月1日号です。